

# 東京支部の重点課題と施策



### 【課題 1】

1人当たりの医療費は全国平均を下回るが、東京支部医療費全体に占める内分泌代謝疾患と循環器系疾患などの生活習慣に深くかかわる医療費の割合が他の疾病に比較して高い。

### 【戦略的保険者機能関係（資料3：P47～P48）】 ii 特定保健指導の実施率及び質の向上

特定保健指導実施機関の拡大、ICT面談の拡大、被扶養者を対象とした集団健診の推進など

### 【2.支部保健事業予算（資料4：P9）】（2）保健指導経費

特定保健指導にかかる案内文書の見直し【新規】、特定保健指導受診に係る電話勧奨及び予約受付等業務委託など

### 【課題 2】

健診結果に基づき要治療対象者に実施した医療機関への受診勧奨後、3か月以内に医療機関を受診した者の割合が低い。  
（全国40位）

### 【課題 3】

東京支部医療費全体に占める新生物に係る医療費の割合が、内分泌代謝疾患と循環器系疾患に係る疾病に次いで高い。

### 【戦略的保険者機能関係（資料3：P48～P49）】 iii 重症化予防対策の推進

健診機関による健診当日の受診勧奨の拡大、健康企業宣言事業所に対する重症化予防の重要性の周知【新規】、がん（大腸がん）検診の要精密検査者への勧奨【新規】など

### 【2.支部保健事業予算（資料4：P9）】（3）重症化予防事業経費

未治療者への受診勧奨、糖尿病等重症化予防事業に係る業務委託など

### 【課題4】

#### 健康経営事業「健康企業宣言」の普及

##### 【戦略的保険者機能関係（資料3：P50）】 iv コラボヘルスの推進

健康企業宣言事業所の拡大、事業所カルテの配布、健康づくりセミナーの開催

##### 【2.支部保健事業予算（資料4：P10）】（4）コラボヘルス経費

健康企業宣言事業所の拡大勧奨事業、外部委託による健康企業宣言事業更新事務作業【新規】など

### 【課題5】

KPI目標の「ジェネリック医薬品の使用割合80%以上」に対し、東京支部加入者のジェネリック医薬品使用割合は、79.6%（令和4年5月時点）である。（全国平均80.6%）

##### 【戦略的保険者機能関係（資料3：P52～P53）】 ③ ジェネリック医薬品の使用促進

「薬局・医療機関向け見える化ツール」及び「ジェネリック医薬品実績リスト」等を活用した保険薬局及び保険医療機関に対する働きかけなど

##### 【1.支部医療費適正化等予算（資料4：P8）】（1）医療費適正化対策経費

保険薬局及び医療機関を対象にした「自機関のジェネリック医薬品処方割合のお知らせ」の制作等業務、デジタルサイネージ等を活用した上手な医療のかかり方の周知【新規】など

### 【課題6】

関係団体との連携として、特に東京都、区市町村などの行政との連携が他支部と比べ希薄である。

#### 【戦略的保険者機能関係（資料3：P54）】 ⑤ 関係団体との事業連携の推進

保険者協議会を通じた、行政や他保険者とのデータ分析や健康づくり事業に関する協力・連携

#### 【2.支部保健事業予算（資料4：P10）】（5）その他の経費

医療費分析等に関する調査業務委託、区市町村等と連携した健康維持に関する広報

### 【課題7】

自動審査の導入により高度化された次期業務システムの最大限の活用

#### 【基盤的保険者機能関係（資料3：P43～P44）】 ⑨ 業務改革の推進

新業務システム（令和5年1月導入）の効果を最大化するための最適な事務処理体制の構築

東京支部内における最適な事務処理体制の構築によって対応するため、予算未計上とする。

